

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 11 月 19 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

ここまでお読みいただければ、だいたい一目均衡表の波動論がご理解いただけたと思います。

大切なポイントは、

相場は上がる場合でも下がる場合でも *N* 波動を描いていく。

つまり、相場は最低限、*N* 波動が出ない限り終了しない。

人気が続く場合は *N* 波動が連続するが、一つの相場においては 7 波動から 9 波動が限度であることが多い。

以上この 3 点であるわけです。

今回は **3002 グンゼ** のチャートを使ってご説明します。

これは **7 波動の上昇** に対して **7 波動の下降**、上げ下げの波動が一致したケースです。一致しなければ駄目だという意味では必ずしもありません。7 波動の上昇に対して 5 波動の下降、9 波動の上昇に対して 7 波動の下降など色々なケースが考えられます。

しかし、上昇に要した波動と同じ波動を下げたのであれば、その下げは最終局面に来ていると見ていいと思います。

例えば、長期間にわたって人気を集め 9 波動上昇したのであれば、3 波動程度の下降では物足りません。9 波動に匹敵するか、少なくともそれに近いくらいの調整をしない限り底を打つことは出来ないと思って下さい。

この件に関するお問い合わせは 03 - 3669 - 5022

(無料テレホンサービスですお気軽に) やさしいチャート教室 03 - 3669 - 5552

### 〈グンゼ〉



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようにお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。